

## 《調査の目的・内容》

- ◆ 平成25年度は、24年度と同じ内容の調査によりAKHの算出等に必要データ収集を行い、前年度との比較分析等を行うことを目的に調査を実施。今後、地域別や年齢階層別などの属性別でも比較分析ができるよう対象者を3,000人から3,500人に増。
- ◆ 対象：県内在住の20歳以上の男女3,500人（無作為抽出）
- ◆ 期間：平成25年5月27日～6月10日
- ◆ 回収数：1,771件（回収率：50.6%）
- ◆ 設問数：計15問

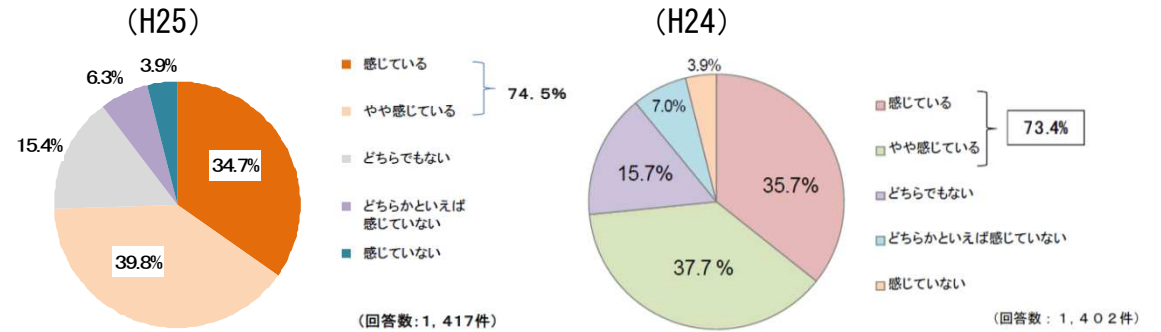
## 《調査のまとめ・今後の活用》

- ◆ 直感的な幸福度について、平成25年度は「幸福」だと感じている県民の割合は74.5%で昨年度から1.1ポイント増加。
- ◆ AKHの変動では、平成25年度は68.4で昨年度とほぼ横ばい。
- ◆ ウェイトでは、昨年度から「A：夢を持っている」と「D：将来に不安がない」が上昇。満足度では、「A：夢を持っている」だけが減少し、他は横ばい。
- ◆ 地域別の比較では、県北地域で満足度が高く、県南地域で低い傾向。
- ◆ AKHにより、県民の多様な幸福の形を把握することが可能。行政サイドでは、データを蓄積し、幸福量の一層の増大につながる政策の立案に活用。県民は、幸福には多様な形があることに「気づき」、自身の幸せを高めていく主体的な行動につながる。

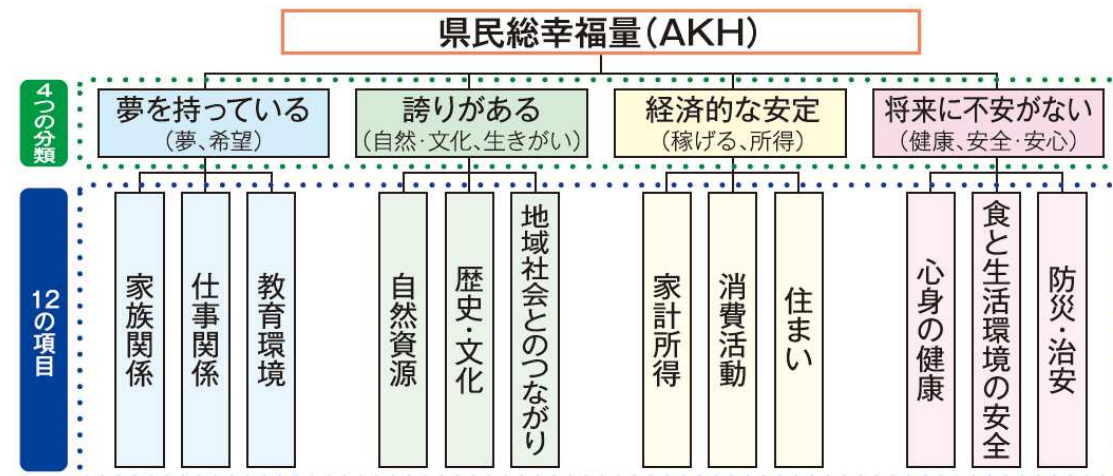
## 《全体集計》

### ○「直観的な幸福度」について

現在、端的に幸せと感じているかという「直観的な幸福度」を5段階で質問。  
⇒ 「幸福」だと感じている県民の割合（「感じている」＋「やや感じている」）は74.5%（H24は73.4%）。



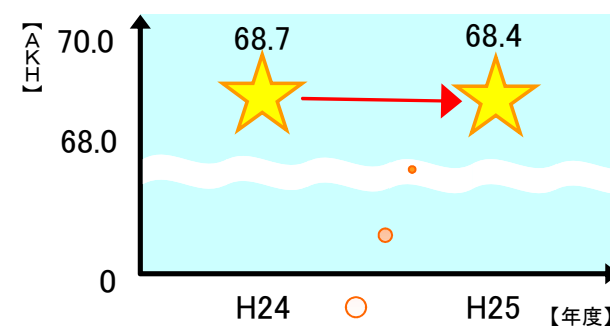
## 《AKHの構成》



幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、その要因ごとの「満足度」やどの程度それを重視するかという「ウェイト」を県民アンケートにより測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組み。

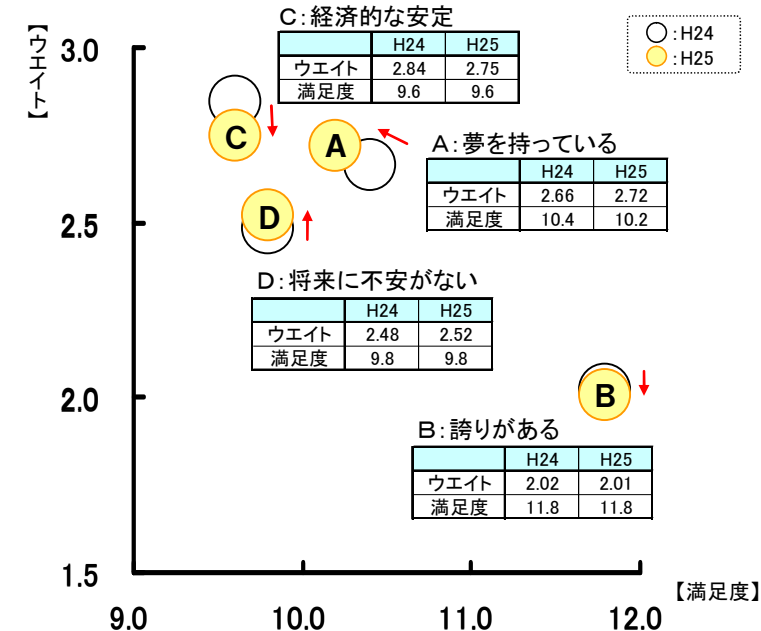
## 《AKHの変動：H24⇒H25》

### ①AKH（全体）の変動



ほぼ横ばい！

### ②“4つの分類”別のウェイトと満足度の変動



# H25県民総幸福量 (AKH:Aggregate Kumamoto Happiness)

## 《AKHの算出方法》

- 手順1 : “項目”に対する「満足度」(5段階)の平均値を算出し、“分類”別に合算⇒①
  - 手順2 : “分類”に対する「ウエイト」(全体を10とした場合にそれぞれいくつとなるか)の平均値を算出⇒②
  - 手順3 : “分類”別に「満足度」と「ウエイト」を掛ける⇒③
  - 手順4 : ③を合算⇒AKH(=102.6)
- ※最高が150となるため、最高を100に換算(=68.4)

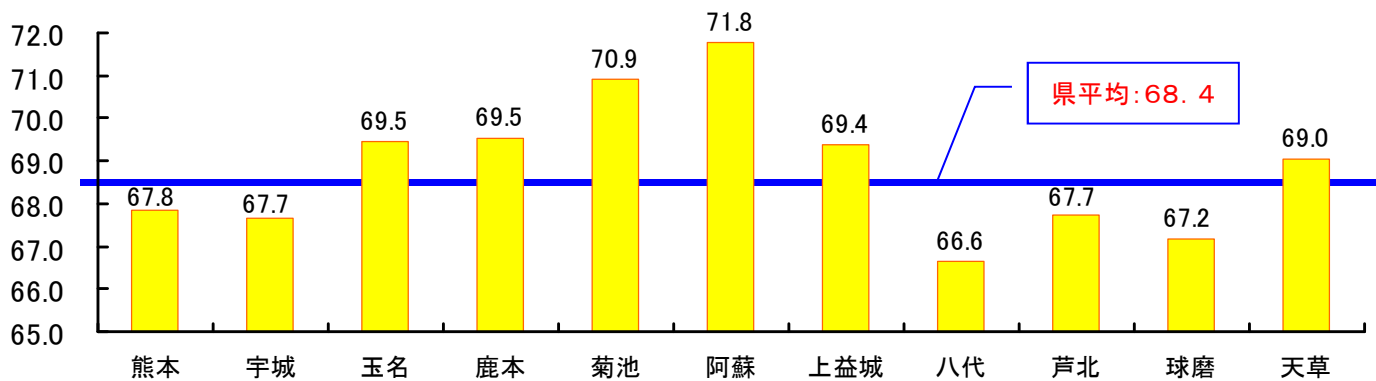
分類 《4》	項目 《12》	満足度			ウエイト (2)	(1)×(2)=③	AKH (③の合計)
		設問	回答の 平均値	合計 (1)			
夢を持っている	家族関係	あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？	3.9	10.2	2.72	27.7	102.6 68.4
	仕事関係	あなたは、仕事のことで将来の夢を持っていますか？	3.2				
	教育環境	あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？	3.1				
誇りがある	自然資源	あなたは、地域の自然を素晴らしいと感じていますか？	4.3	11.8	2.01	23.7	
	歴史・文化	あなたは、地域の歴史や文化に誇りを感じていますか？	3.8				
	地域社会とのつながり	あなたは、地域社会とのつながりを感じていますか？	3.7				
経済的な安定	家計所得	あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？	2.9	9.6	2.75	26.4	
	消費活動	あなたは、必要なモノやサービスを購入できていると感じていますか？	3.1				
	住まい	あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？	3.6				
将来に不安がない	心身の健康	あなたは、こころやからだ健康だと感じていますか？	3.3	9.8	2.52	24.7	
	食と生活環境の安全	あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全だと感じていますか？	3.8				
	防災・治安	あなたは、災害や防犯に対する備えができていますか？	2.7				

## 《クロス集計(まとめ)》

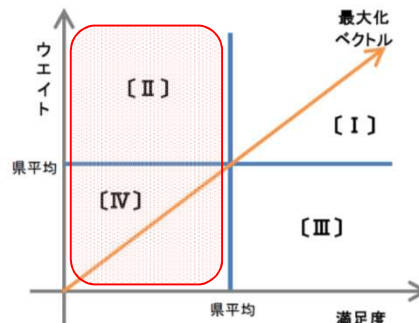
属性	「直観的な幸福度」	AKH (最高を100に換算)	“4つの分類”のウエイト	“12の項目”に対する満足度
①男女別	男性69.0%、女性78.3%で、前年度と同様に女性の方が高い。	男性67.6、女性68.2で女性の方が高い。	差はあまり見られない。	差はあまり見られない。
②年代別	各年代とも7割～8割が「幸福だ」と感じている。特に30歳代と70歳以上の「幸福だと感じる」が4割と他の年代に比べ幸福度の強さがうかがえる。	70歳以上が70.3、30歳代が68.3と高く、20歳代が66.2と最も低い。	20歳代と30歳代では「経済的な安定」、「夢を持っている」の順で高く、70歳以上では「将来に不安がない」のウエイトが最も高い。	各分類の中で満足度が最も高い項目は次のとおりでおおよそ共通している。  「夢を持っている」 →『家族関係』 「誇りがある」 →『自然関係』 「経済的な安定」 →『住まい』 「将来に不安がない」 →『食と生活環境の安全』
③地域別	菊池、上益城、熊本の順で高い。	阿蘇、菊池、玉名、鹿本、上益城、天草が県平均より高い。	最もウエイトが高い分類が「経済的な安定」が6地域、「夢を持っている」が5地域と半々となっている。	
④職業別	公務員、会社役員、専業主夫・主婦、学生の順で高い。	※標本数が少なく未算出	多くの職業で「経済的な安定」のウエイトが高い。次いで「夢を持っている」となっている。	しかし、2位・3位の項目については、属性ごとにバラつきが生じている。

# H25県民総幸福量 (AKH) の比較【地域別】

## 全体



《考え方》



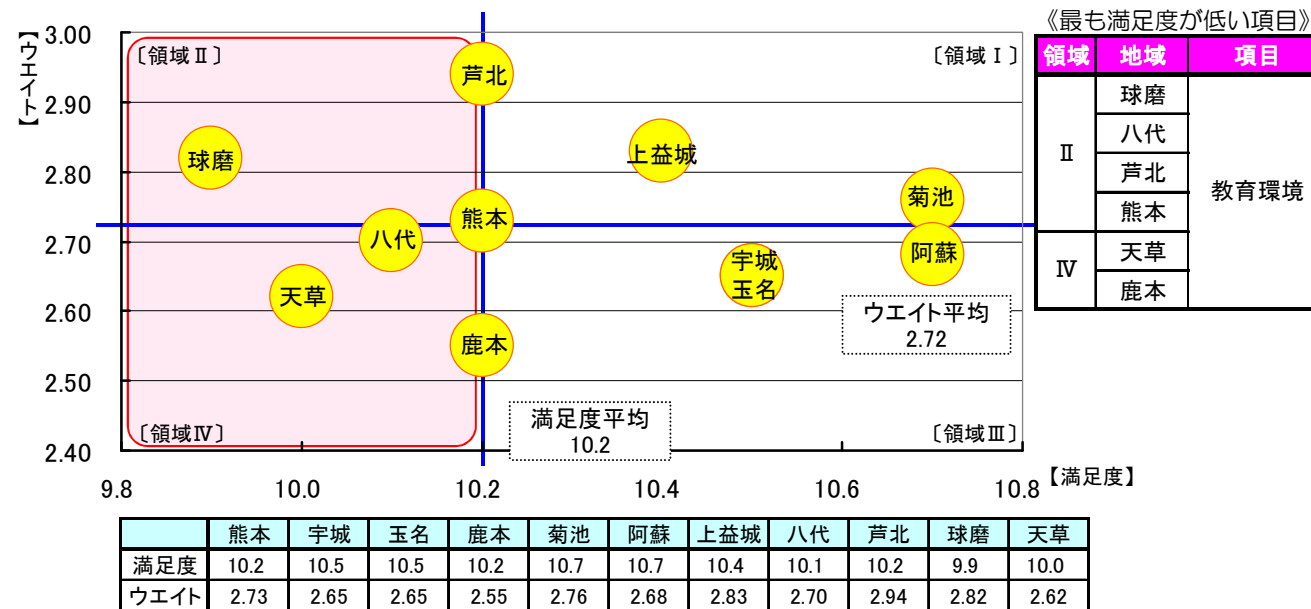
【4つの領域の位置づけ】

- 〔領域Ⅰ〕 満足度、ウエイトともに県平均より高い。
- 〔領域Ⅱ〕 満足度は県平均より低い、ウエイトは県平均より高い。
- 〔領域Ⅲ〕 満足度は県平均より高い、ウエイトは県平均より低い。
- 〔領域Ⅳ〕 満足度、ウエイトともに県平均より低い。

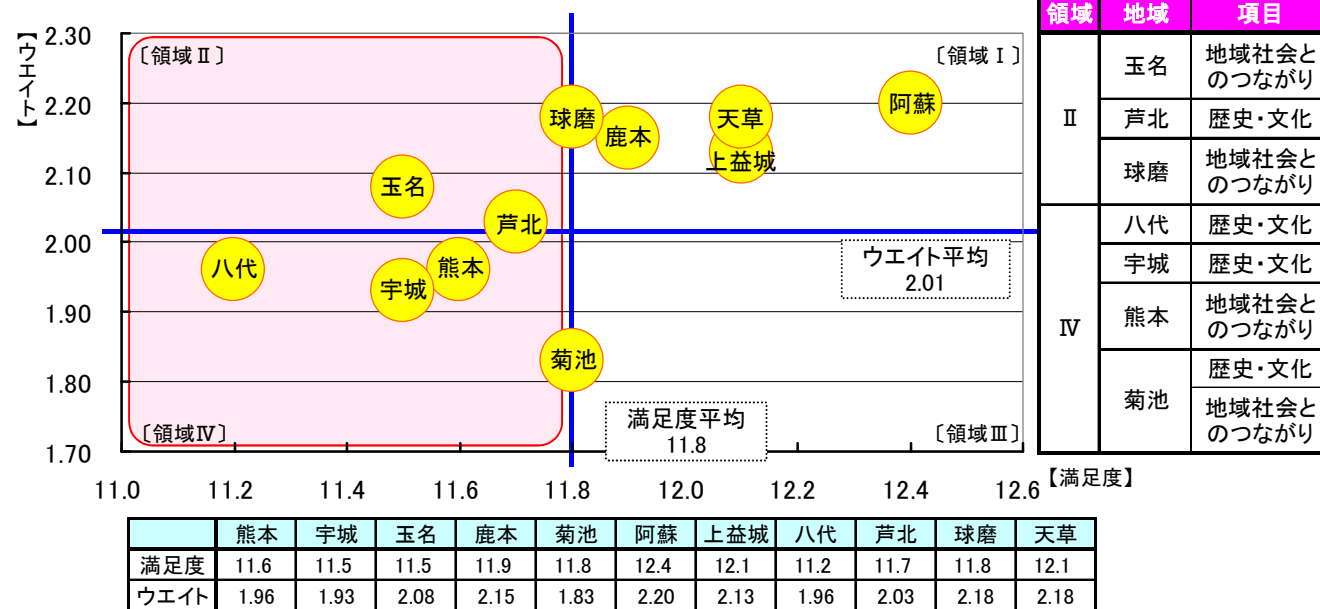
“4つの分類”ごとに満足度が県平均より低い地域、すなわち上図の領域Ⅱと領域Ⅳに位置する地域を対象に、最も満足度が低い項目を高めていくことが重要と考えられる。

## 分類別

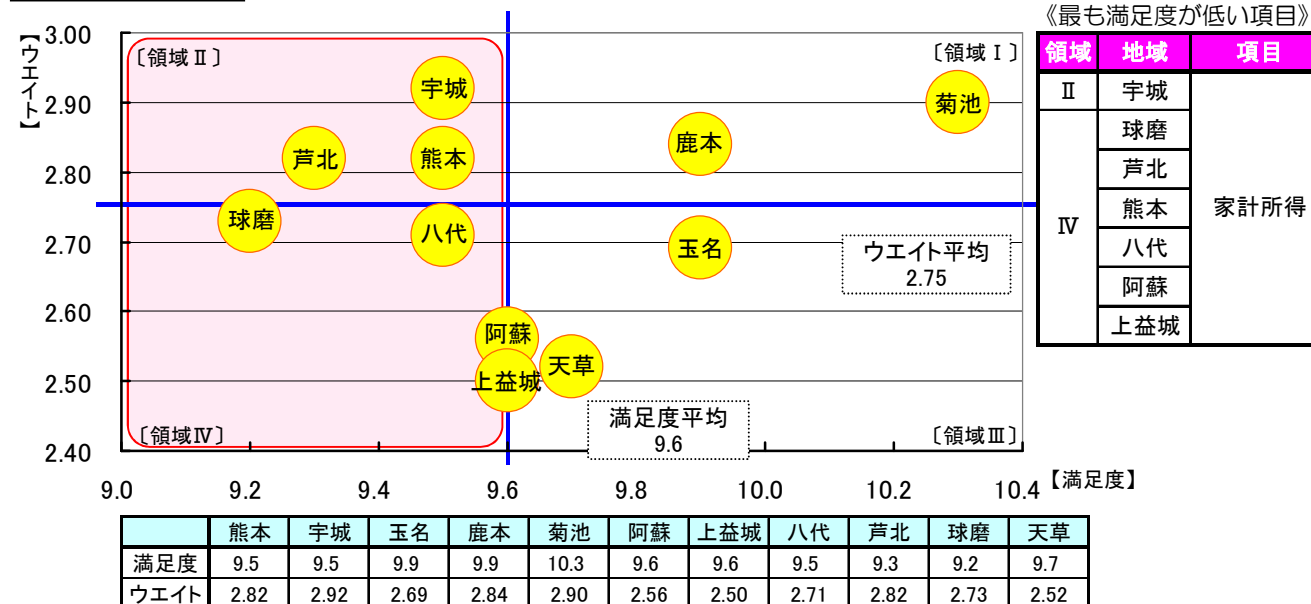
### A 夢を持っている



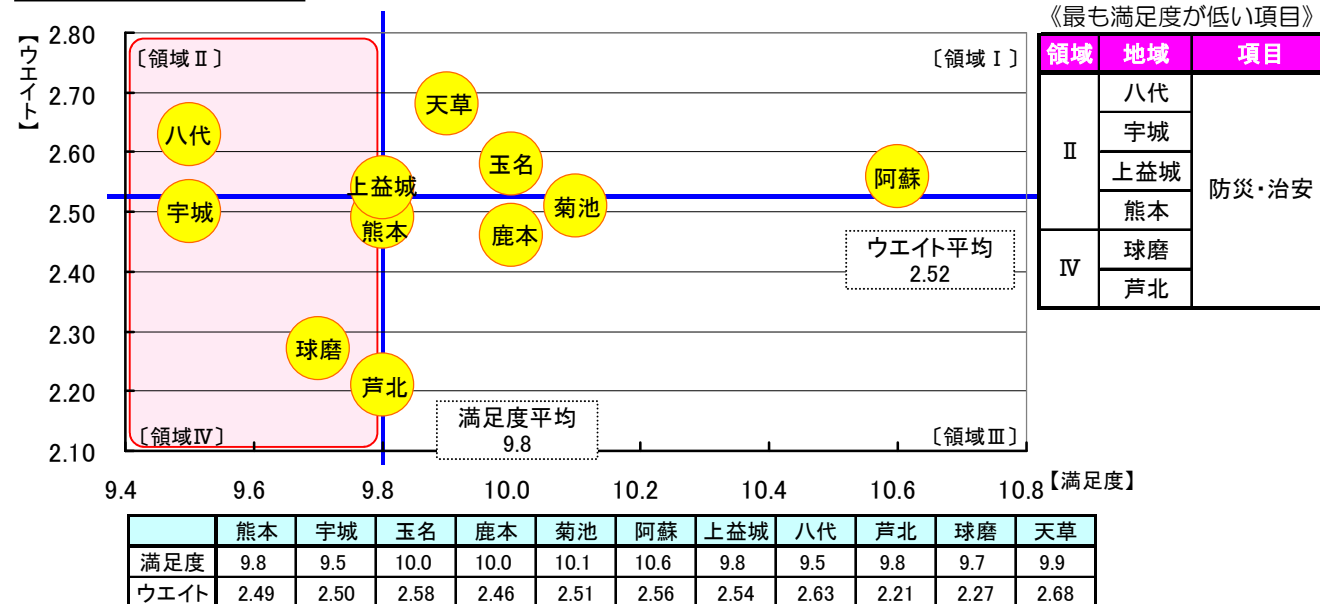
### B 誇りがある



### C 経済的な安定

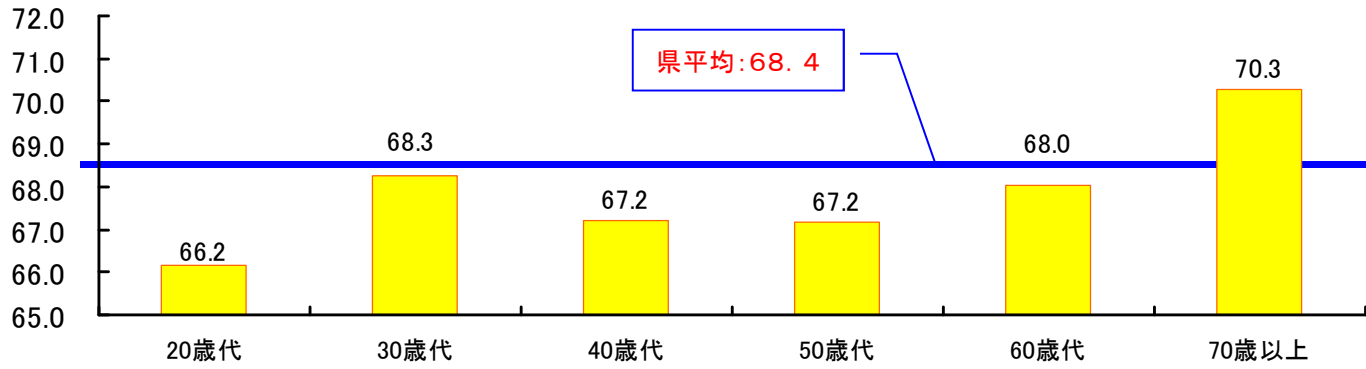


### D 将来に不安がない

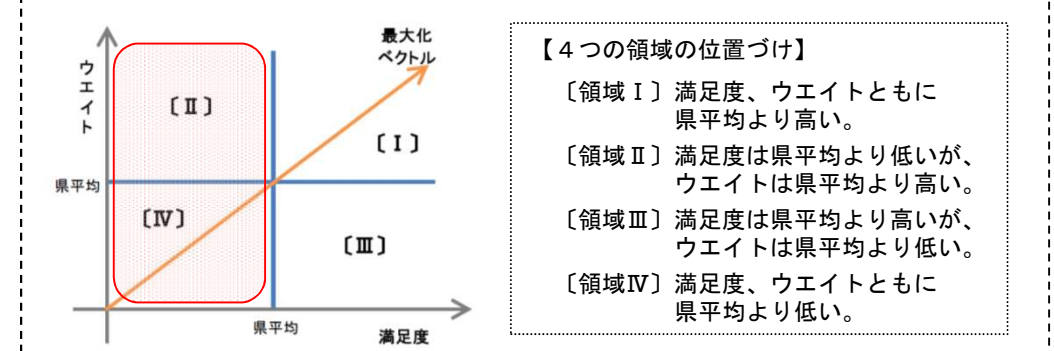


# H25県民総幸福量（AKH）の比較【年齢階層別】

## 全体



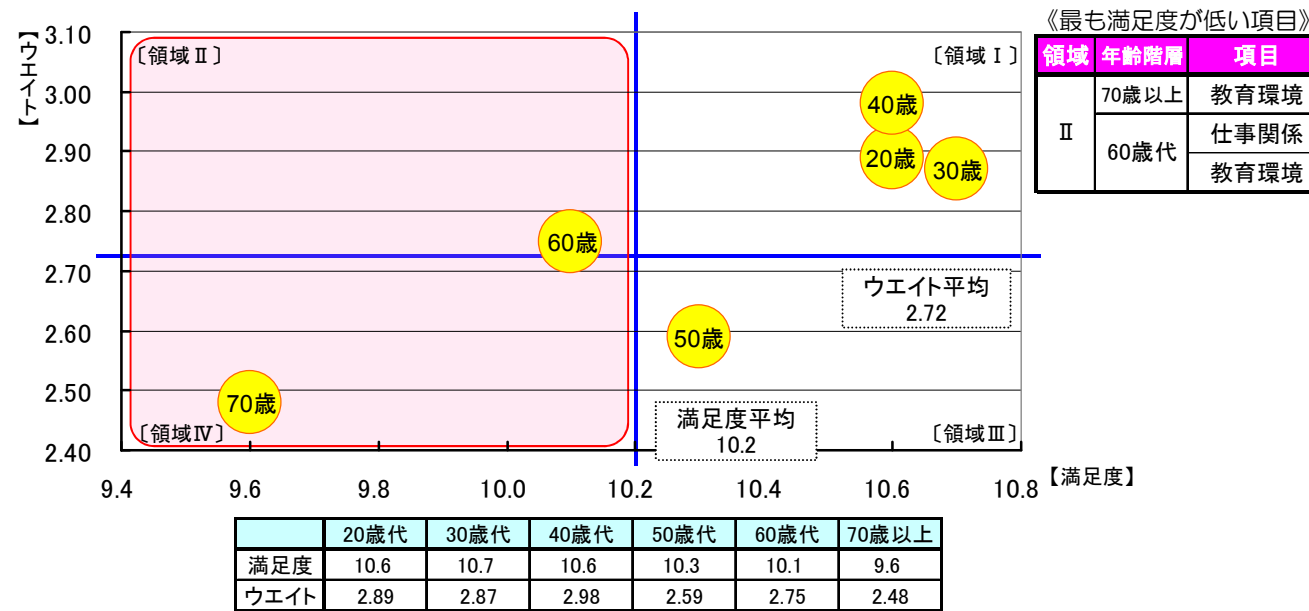
《考え方》



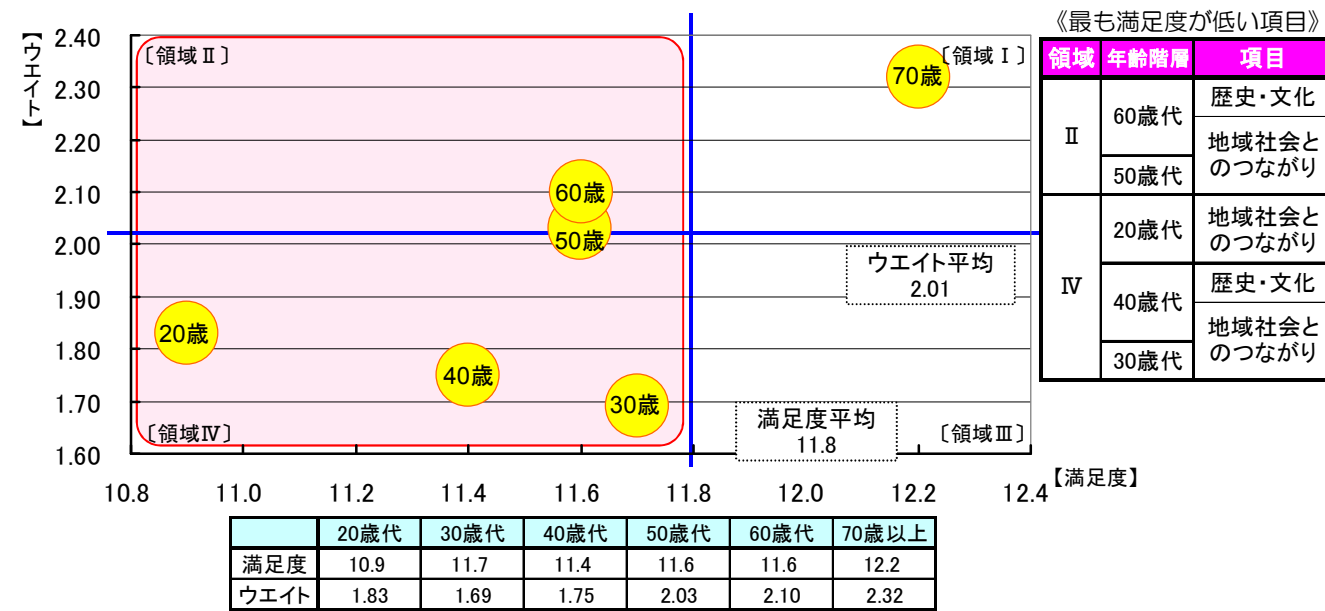
“4つの分類”ごとに満足度が県平均より低い年齢階層、すなわち上図の領域Ⅱと領域Ⅳに位置する年齢階層を対象に、最も満足度が低い項目を高めていくことが重要と考えられる。

## 分類別

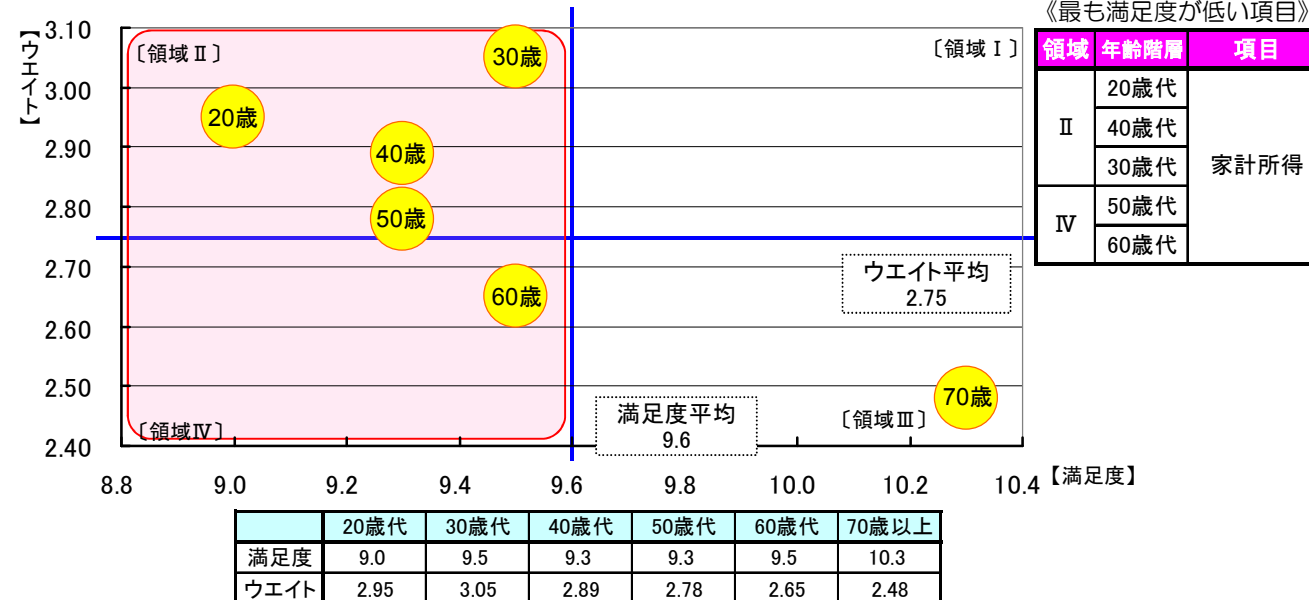
### A 夢を持っている



### B 誇りがある



### C 経済的な安定



### D 将来に不安がない

